



ごみ減量・プロジェクト

～“1万トン減らそう”未来のために!!～



☆☆10月はごみ減量強化月間☆☆

寝屋川市では『ごみ減量・プロジェクト』として、平成29年度から31年度の3か年で平成27年度の焼却処理量より10,000トンの削減を目指していますが、平成30年6月の地震、7月の大雨及び9月の台風でごみの量が昨年度より非常に増加しています。（8月までの焼却処理量は、昨年と比べると約900t増）
災害に備えるためにも、日頃からごみの減量をお願いします。

台風21号で出されたごみの状況

【通常の不燃ごみピット】



【災害後（現状）の不燃ごみピット】



【クリーンセンター内での仮置場】



深さ15mのごみピットがあふれています。



ごみピットからあふれでたごみを、仮置場に置いています。

☆ごみ減量のポイントは3つ☆

① 生ごみの水切り

- 生ごみの水分をもう一絞りしよう！
- コンポストや生ごみ処理機を使用する



② 食品ロス削減

- 食品を
 - ・買い過ぎない
 - ・使い切る
 - ・食べ切る
- 冷蔵庫や食品庫の中を整理する

③ 雑紙の分別

- リサイクル可能な雑紙を分別しよう！

◆古紙回収に出せる紙◆

- ・ラップの芯
- ・紙パック
- ・広告紙
- ・ティッシュ箱
- ・お菓子の箱

○雑紙の分別

雑紙は紙袋などに入れて「**古紙**」の日に出すか、自治会等の資源集団回収に出してください。

(例)



ポスティングチラシ



期限切れのクーポン券



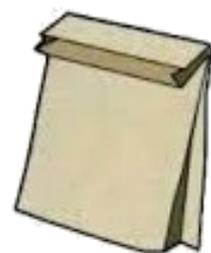
期限切れのポイントカード



値札



チューブ製品の箱



紙袋



お菓子箱

○段ボールコンポスト

生ごみを堆肥化し、ごみの減量につながります。購入金額の**3 / 4** (上限 4,000 円まで) の補助金もありますので、是非ご活用ください。

詳しくは、購入前に環境総務課まで



○カラス対策

①生ごみを外から見えないように (生ごみを紙で包むなど) して、ごみ袋の袋口をきちんと結びましょう。

②収集日の前日や収集後にごみを出すと、カラスにごみを荒らされてしまいますので、ごみは決められた収集日の午前9時までに出しましょう。

